

### 歴代会長

|    |        |                  |    |       |                  |
|----|--------|------------------|----|-------|------------------|
| 初代 | 木村 勸之助 | (昭和28年度から昭和30年度) | 四代 | 角本 廣  | (昭和49年度から昭和59年度) |
| 二代 | 村松 虎之助 | (昭和31年度から昭和39年度) | 五代 | 川嶋 福壽 | (昭和60年度から平成20年度) |
| 三代 | 徳丸 久吉  | (昭和40年度から昭和48年度) | 六代 | 高見 義一 | (平成21年度から現在)     |

### まちの由来・歴史

当町会は「上仲千光町会」「上仲町会」を経て、昭和28年9月に上町区域のみで「上町町会」を創立、今年で63年となりました。地名は、江戸時代栄えていた青梅街道沿いの中野宿にあった字名・上宿が起りこりのようです。正式には昭和7年、中野区の誕生時に「上町」の地名が付きましました。昭和42年、新住居表示施行により上町は、中央3丁目と同4丁目の一部になりましたが、町会区域は従前のままで、町会名も変えず現在に至っています。

### 町会の組織・運営

円滑な町会運営を図るため、総務部ほか5部門を組織、役員は会長以下7役職をおいています。この外に災害対策のため「上町町会地域防災会」を組織しています。定期総会・地区役員総会は毎年5月に開催、会長以下理事を構成員とする理事会は原則として毎月1回、第3日曜日に開催しています。現在、当町会区域には約1,700世帯、約2,700の方が居住されています。

### 町会の特徴・主な活動

地域のランドマークは、仲町・橋場・鍋横・上町の4町会で管理している。天祖神社(別称：お伊勢の宮)で、伊勢神宮・榛名、三峯神社の大神を祀っています。創建は江戸時代とか。境内には銀杏、櫻、桜等の巨木があり、小規模ながら格式の高い社殿が町を見守っています。ここは、保護樹林指定地区で上町役員が定期的に清掃活動をしています。この広い境内を拠点として、新入学1年生を迎える会を始め、子供たちの健全育成、年齢を超えた会員の相互交流事業を多くの若いお母さん、お父さんの応援を頂き行っています。ここでの三大大事を以下に紹介いたします。

**新春餅つき大会** 高齢者お届け用200人分、参加者300人分用のもち米70kgを臼でつき、餅と大きな寸胴鍋で煮たトン汁を食べ、交流を深めます。子供を中心に行う餅つき体験も大好評です。

**サマースティ** 夏休み初めの土・日曜日に、ドジョウつかみ、飯盒での食事づくり、花火大会、テント張、銭湯行き、テント泊り(4年生以上)等、夏の思い出づくりをしてもらう行事です。

**祭礼** 9月中旬(金～日)、神酒所を開設し、踊り櫓を建て、各種模擬店を開設。模擬店と盆踊りは3日間。日曜日には、山車を先頭に大・中・小神輿が町内を巡行し、この3日間で一番燃える時季です。

### これからの課題

近年、地域環境が変貌し、集合住宅の増加、少子高齢化・核家族化の進行、確実に来ると云われている首都直下型地震等の対応が求められています。平成24年から始まった見守り支えあい事業は、まさに災害対策と一体化して取り組むことが求められています。これらの課題に取り組む現任役員は高齢者が多く、現代感覚や体力に厳しさを感じています。青年部や女性部の拡充と共に会員の方々が気軽に参加協力して頂ける環境が整備できるような町会運営をしていきたいと考えております。

